

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

● スタッフ (2021年10月1日現在)

診療科長 塚原 清彰
 医局長 白井 杏湖
 病棟医長 稲垣 太郎
 外来医長 本橋 玲

医師数 常勤 29名
 非常勤 21名

● 診療科の特徴

1) 頭頸部外科 (主任教授 塚原清彰、臨床准教授 清水顕、准教授 岡本伊作、助教 岡田拓朗、助教 渡嘉敷邦彦、助教 上田百合、兼任講師 佐藤宏樹、講師 近藤賢仁【八王子医療センター】)

当院ではこれまでに7000名以上の頭頸部癌治療を行ってきました。2021年の頭頸部癌の手術件数では、大学病院で1位とコロナ禍においても多くの手術を行っています。早期癌に対しては従来の放射線治療に加え、ロボット支援手術や咽喉頭内視鏡手術も行っています。進行癌に対する化学放射線療法、機能温存手術、拡大手術・再建手術についても各種学会、学術誌で報告し高い評価をいただいています。再発・転移頭頸部癌に対しては免疫チェックポイント阻害剤を含めた薬物療法も積極的に行っています。また、最近は頭頸部イルミノックス治療(光免疫治療)も導入しています。週に1回、放射線診断部・治療部および口腔外科とがんセンターを連携し、一次治療や治療効果判定、追加治療の有無について検討しています。癌研有明病院、がんセンター中央病院、がんセンター東病院、国際医療福祉大学三田病院などと人的交流も行っています。頭頸部がん専門医7人とがん薬物療法専門医1人が在籍しています。

2) 耳科 (教授 河野淳、臨床准教授 西山信宏、准教授 稲垣太郎、講師 白井杏湖、助教 冨岡亮太、兼任講師 太田陽子)

難聴外来では、聴覚・人工内耳センターを中心に難聴の診療を行っています。人工内耳手術は、1985年に日本で初めて当施設にて施行され、当施設での施行例はこれまでに1000例を超えています。2021年に施行された人工内耳手術は46件でした。補聴器診療にも力を入れており、実績は都内トップです。また、臨床遺伝専門医2人が在籍しており、適応を判断した上で難聴遺伝子診断を行っています。中耳炎外来では、慢性中耳炎や伝音難聴など、手術により聴力や病状の改善を望める患者さんの診療を行っています。耳内法や内視鏡下手術による低侵襲手術を積極的に取り入れ、外来で施行可能なトラフェルミン製剤(リテインパ®)を用いた鼓膜穿孔閉鎖術も行っています。2021年に施行された耳科手術は227件でした。耳科手術指導医(暫定指導医)2人が在籍しています。

3) 鼻科 (講師 矢富正徳、助教 黄川田乃威、教授 大塚康司【茨城医療センター】)

最新のハイビジョンシステムとナビゲーションシステムを用い副鼻腔炎から腫瘍性疾患まで幅広く対応する内視鏡手術を行っています。難易度の高い、前頭洞炎

に対するDraf手術や上顎洞乳頭腫に対するEndoscopic medial maxillectomyも積極的に行っています。涙嚢炎や鼻涙管閉塞症に対して眼科と協力して内視鏡下鼻腔涙嚢吻合術を行っています。鼻科手術指導医1人が在籍しています。

4) めまい (准教授 稲垣太郎、助教 黄川田乃威、教授 小川恭生【八王子医療センター】、教授 大塚康司【茨城医療センター】)

めまいの原因は多岐にわたることが多く、問診、身体所見、各種検査に基づき論理的に診断をつけていきます。前庭機能検査として、赤外線CCDカメラやENG検査で眼振の観察・記録を行い、病巣診断としてカロリックテスト、cVEMP、oVEMP、vHITを行っています。

近年はPersistent Postural Perceptual Dizziness (PPPD)の概念が浸透し、診断のみでなく慢性期への対応が課題になってきています。Dizziness Handicap Index (DHI)、QIDS-J、The Niigata PPPD Questionnaire (NPQ)等のアンケートを用いてめまいによる日常的障害や抑うつ状態のチェックを行い、メンタルヘルス科に相談することもあります。めまい外来終了後にはカンファレンスを行い、新患や問題症例に対する治療方針の検討をしています。新患登録数(2021年)は174例でした。3人の日本めまい平衡医学会専門会員が在籍しています。

5) 音声 (講師 本橋玲、西田学、兼任助教 桜井恵梨子、兼任講師 許斐氏元)

音声障害、声帯運動障害の精査のため積極的に3DCTによる診断を行っています。診断困難な症例に対しては喉頭筋電図による診断も行っています。また喉頭麻痺に対する披裂軟骨内転術、痙攣性発声障害に対するボツリヌス注射、甲状軟骨形成術Ⅱ型、甲状披裂筋切除術、喉頭外傷後喉頭形成など複雑な疾患・手術に対応しています。一方、入院を希望されない方には外来日帰り手術を行っています。当院で考案した屈曲カテラン針を用いた手術にて声帯ポリープ、声帯嚢胞の切除や声帯内注入術等を行っています。甲状軟骨形成手術実施認定医2人が在籍しています。

6) 嚥下 (講師 岡田拓朗、助教 上田百合、小島理央)

耳鼻咽喉科医師3名、口腔外科医師2名、摂食・嚥下障害看護認定看護師2名、管理栄養士1名、言語聴覚士3名でNSTチーム医療として行っています。評価には嚥下内視鏡検査、兵頭スコアを用いています。内視鏡における評価で、適切な食形態、リハビリ方法を選択しています。食形態はゼリー、嚥下調整食2(ペースト食)、嚥下調整食3(きざみ・とろみ食)、嚥下調整食4(軟食一口大)、常食に分け、水分はとろみ無し・とろみ1.0%・とろみ2.0%に分け、複雑な食形態に対応可能です。リハビリは言語聴覚士により食事を使用しない間接訓練から実際に食事を使用する直接訓練まで、段階を踏んで行います。すべてのスタッフが食べることを通して患者さんのQOL改善に努めています。

7) 睡眠時無呼吸 (講師 矢富正徳、兼任准教授 北村剛一)

循環器内科、口腔外科とともにチーム医療を展開しています。小児でも可能な限りポリソムノグラフィーを行い、客観的評価に基づき手術適応を決めています。成人では動的MRI撮影による閉塞部位の特定を重視しており、結果により適切に鼻閉改善手術、口蓋扁桃切除術、口蓋垂軟口蓋咽頭形成術、舌扁桃切除術、オトガイ舌筋前方牽引術などを選択し手術成績の向上に努めています。日本睡眠学会専門医が1人在籍しています。

2021年

頭頸部			524	
悪性	再建 65	遊離再建 42	前腕皮弁	12
			大腿外側皮弁	36
			腹直筋皮弁	3
			腓骨	1
			空腸	0
		有茎再建 23	大胸筋皮弁	14
			DP皮弁	3
			胃管	6
		頸部	頸部郭清	157
	原発 (再建あり) 78	咽頭喉頭頸部食道摘出	11	
		下咽頭部分切除、喉頭全摘	7	
		喉頭全摘	13	
		食道全摘	6	
		中咽頭切除	4	
		舌半切～全摘	5	
		上顎部分切除	1	
		上顎全摘	2	
		拡大上顎全摘	1	
		眼窩内容物除去、上顎部分切除	4	
		下顎辺縁切除	10	
		下顎区域切除	4	
		口腔底切除	2	
		耳下腺拡大全摘	7	
切除 (再建なし) 103	舌下腺摘出	1		
	耳下腺摘出	9		
	甲状腺摘出	6		
	上顎部分切除	3		
	中咽頭切除(経口腔)	5		
	ELPS	26		
	TORS(ダヴィンチ)	15		
	LMS(喉頭悪性腫瘍手術)	5		
	舌部分切除	11		
	口腔部分切除(舌以外)	3		
リンパ節摘出/リンパ節群郭清	7			
頭頸部イルミノックス治療	13			
良性	切除 51	耳下腺摘出	37	
		顎下腺摘出	5	
		甲状腺摘出	1	
		中咽頭切除(経口腔)	2	
		頸部神経鞘腫摘出	1	
		副咽頭間隙腫瘍摘出	2	
その他	その他	気管切開(悪性腫瘍によるもの)	57	
		プロボックス挿入	1	
		その他	12	

耳	227
人工内耳埋込術	46
鼓室形成術	45
鼓膜形成術	2
鼓膜穿孔閉鎖術	9
乳突洞削開術	17
アプミ骨手術	8
外耳道腫瘍摘出術	2
中耳道腫瘍摘出術	1
鼓膜切開(外来)	33
鼓膜チューブ挿入術	10
鼓膜チューブ挿入術(外来)	34
外耳道形成術	3
外耳道異物除去術(外来)	10
顔面神経減圧手術	4
その他	3

鼻	359
内視鏡下副鼻腔手術 II型	1
内視鏡下副鼻腔手術 III型	19
内視鏡下副鼻腔手術 IV型	84
内視鏡下副鼻腔手術 V型	1
内視鏡下鼻腔手術 I型	106
内視鏡下鼻中隔手術 I型	64
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	8
涙囊鼻腔吻合術	3
鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	1
鼻茸摘出術	2
粘膜焼灼術	2
鼻茸摘出術(外来)	1
異物除去(外来)	4
粘膜焼灼術(外来)	63
その他	0

口腔・咽喉	237
アデノイド切除	20
口蓋扁桃摘出術(側)	102
軟口蓋形成手術	15
舌扁桃切除術	10
咽頭異物摘出術(外来)	36
扁桃周囲膿瘍切開	45
唾石摘出術(外来)	3
口腔咽頭腫瘍摘出術	2
口腔咽頭腫瘍摘出術(外来)	4
その他	0

喉頭	96
咽頭異物摘出術(外来)	1
喉頭形成術(甲状軟骨形成術)	12
喉頭形成術(披裂軟骨内転術)	11
神経筋弁移植	6
ラリングマイクロサージェリー	46
外来手術(切除)	4
外来手術(粘膜下異物挿入)	16

その他	77
気管切開術	39
気管孔閉鎖術	4
リンパ節摘出術	3
リンパ節摘出術(外来)	6
リンパ節群郭清術	6
深頸部膿瘍切開術	12
耳瘻管摘出術	6
その他	1